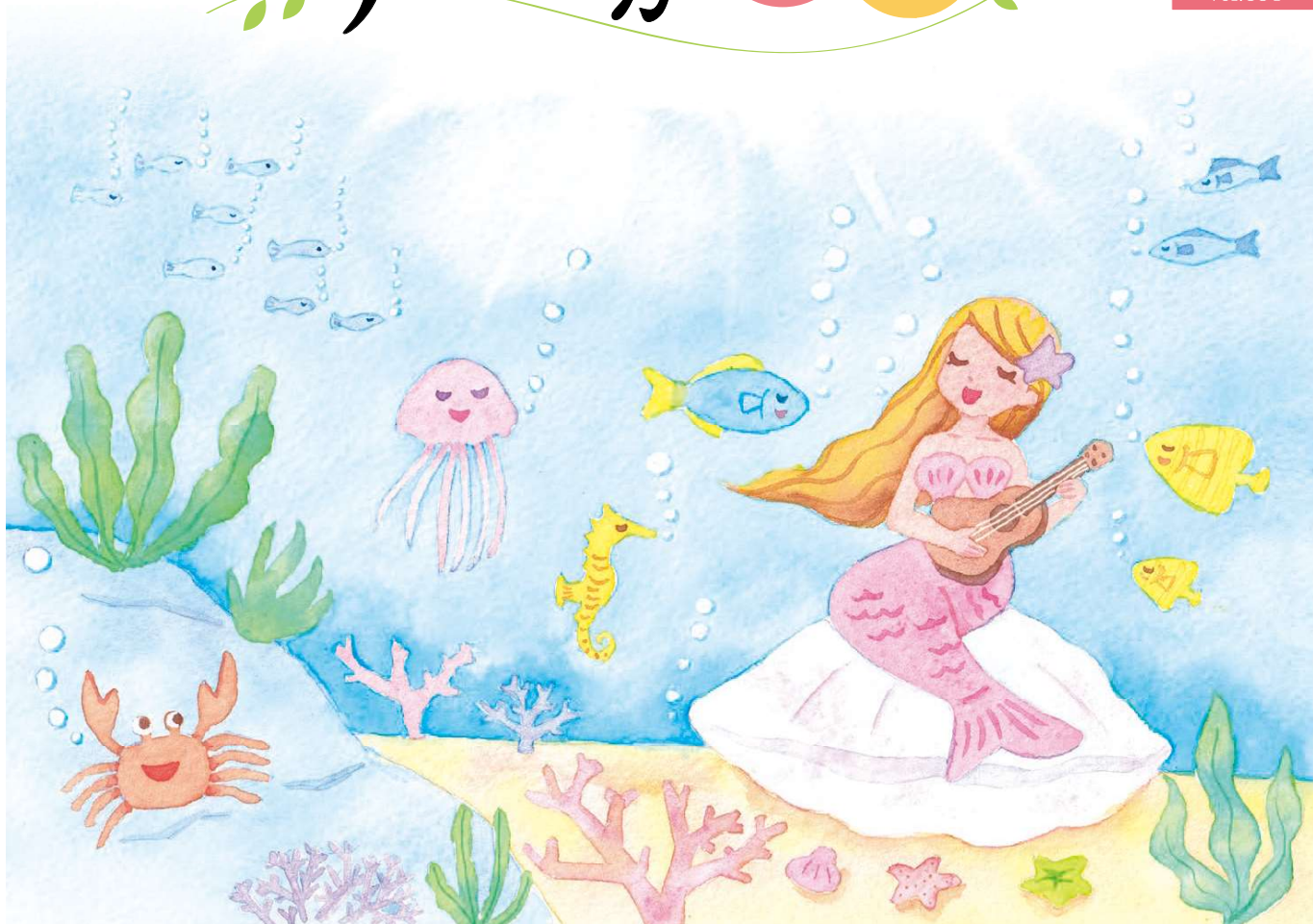




★ Special Issue 全世代型社会保障の「議論の中間整理」公表 社会保障全体のDXを推進

最近、「〇〇DX」という言葉を目にする機会が増えてきました。このDXとはどういう意味で具体的に何を指すのでしょうか。

DXは「デジタルトランスフォーメーション」の略語で、デジタル技術を活用し、ビジネスはもちろん私たちの生活を、あらゆる面でより良いものに変化させることを意味しています。DXの必要性が高まった大きな要因の一つに、今回の新型コロナウイルスの感染拡大が挙げられます。

長引く感染拡大により、わが国の働き方は大きく変わりました。例えばテレワークの導入、WEB会議を用いた商談・打ち合わせ等のオンライン化は、その最たるものといえます。新型コロナウイルスの感染が収まっても、このデジタル化の流れは後退することはないでしょう。

5月17日、全世代型社会保障構築会議は議論の中間整理を公表しました。この中で注目されるのは、「社会保障全体のDXを進めるべき」との記載です。国民がより質の高い医療・介護等の

サービス享受できるように、患者のカルテの電子化・共有と活用が重要であるとし、具体的にはマイナンバーカードで利用できる健康データや電子カルテ情報等規格化されたデータの連携・活用に向けた環境整備などを掲げています。この中間整理は、政府が6月7日に閣議決定した「骨太の方針2022」にも盛り込まれました。

わが国の民間における規格の標準化の例として、各社の交通系カードが全国ほとんどの鉄道・バスで使えるようになったことで、利便性が高まりました。ところが、医療の世界では各医療機関がシステムを構築しても、データを共有する共通の規格がないため、私たちは電子化のメリットが享受できない状況です。最もDXが遅れている分野の一つといっても過言ではありません。

中間整理と骨太の方針は、この実態に二石を投じたもので、少子高齢化が進む中、オンライン資格確認等の環境整備も含め、国民にとって利便性が高まるようDXの推進が期待されます。

知っておきたい！ 健保のコト

VOL.39

大病院、紹介状がないと負担増に(その2)

前月号で、紹介状なしで大病院の外来を受診した場合、通常の窓口負担(1~3割)とは別に定額を負担する「選定療養費」の概略を説明しました。

今回は、10月から予定されている金額の見直しを含めた改正について説明します。前月号と併せてご覧下さい。
＜初診時選定療養費＞

特定機能病院および一般病床200床以上の地域支援病院は、紹介状を持たない初診の患者から窓口負担のほかに7000円(歯科5000円)以上の金額を徴収することを義務化。

＜再診時選定療養費＞

同上の病院は、症状が安定した患者を地域のお医療機関へ逆紹介することになりますが、それにもかかわらず当該患者が紹介状を持たずに同病院を再診した場合、窓口負担のほかに3000円(歯科1900円)以上の金額を徴収することを義務化。

——と、400~2000円それぞれ引き上げられます。

このほか、対象病院として地域で専門的な外来を担う「紹介受診重点医療機関」のうち、一般病床200床以上の病院が追加されます。なお、紹介受診重点医療機関は地域との協議を経て、2023年初頭ごろから決まり始め、同医療機関となってから6カ月間の経過措置があるので、実際に徴収が行われるのはそれ以降となります。

「選定療養費」の詳細については、居住地域の周辺にある病院のホームページなどで確認するとよいでしょう。制度の趣旨を正しく理解し、適切な受診を心掛けましょう。

すこやか特集

身近な薬の専門家 かかりつけ薬剤師を 持とう！

皆さんは、医療機関にかかった後、処方薬をどこで受け取りますか？市販薬はどこで購入しますか？いつでも気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師・薬局」とそれを選ぶことのメリットなどについて日本薬剤師会常務理事で、ご自身も地域密着型の薬局を運営する長津雅則先生にお話を伺いました。



かかりつけ薬剤師ってなに？

2015（平成27）年10月に厚生労働省が発表した『患者のための薬局ビジョン』のサブタイトル「門前」から「かかりつけ」、そして「地域へ」のとおりに、薬局薬剤師は、病院の前から地域住民の隣へと大きく姿を変えています。

16（平成28）年4月には、かかりつけ薬剤師制度がスタートし、利用者が、国が定

める一定の要件をクリアした薬剤師の中から1名指名することで、「かかりつけ薬剤師」を持つことができるようになりました。しかし、これは医療保険の制度上のこと。機能としての「かかりつけ薬剤師」は、必ずしも制度に縛られたものでなくてもよいでしょう。自宅周辺や、あるいは職場や学校の近くに信頼のおける薬剤師がいて、継続した関係を築くことができているれば、それは立派な「あなたの」かかりつけ薬剤師なのです。

さまざまな機能を持つ
薬局

かかりつけ薬剤師を持つメリットは、「皆まで言わずとも、自分のことを分かってくれている薬剤師がいる」ということです。特に居住地近くの薬局であれば、長年の付き合いを通じて、体質や病歴、家族構成、生活習慣まで含めたアドバイスが可能です。薬剤師は、利用者にとって、安心して相談できる身近な医療人だといえます。

実は、薬局には、さまざまな機能があります。例えば、かかりつけ薬剤師・薬局の機能に加えて、市販薬や健康食品、介護や食事・栄養摂取に関することまで気軽に相談できる「健康サポート薬局」。また、「認定薬局」として、地域の医療機関や他の薬局と連携し診療と介護の間をつなぐ「地域連携薬局」、専門的な薬学管理が必要な利用者に対して高度な薬学的知見に基づく指導や調剤に対応する「専門医療機関連携薬局」もあります。

「医療機能情報提供制度（医療情報ネットワーク）」では、全国の医療機関の診療科目や対応可能な治療のほか、薬局の営業情報や機能情報等が公開されています。自宅や職場近くの薬局がどのような機能を備えているか、調べてみるとよいでしょう。



薬剤師は、薬の専門家としてプライマリ・ケア（身近で、何でも相談に乗ってくれる総合的な医療）の一翼を担っています。薬

局は、処方薬、市販薬のほか、医療・衛生関連の消費財をそろえ、現在なら新型コロナウイルス抗原定性検査キットの販売などといった機能も備えて、利用者の生活や健康をサポートする役割があります。ぜひ一番身近な医療人として、皆さんの生活に役立ててください。

自分に合う薬剤師を
みつつけよう

かかりつけ薬剤師・薬局の基本的機能は、①ひとりの薬剤師がひとりの患者さんの服薬状況を一つの薬局でまとめて管理し、継続して指導する機能、②24時間、薬の相談ができ、在宅医療もサポートする機能、③かかりつけ医を始めた医療機関等との連携強化機能——の3つです。

制度上の「かかりつけ薬剤師」を利用する場合は、「かかりつけ薬剤師同意書」へのサインが必要となります。このかかりつけ薬剤師になるためには、①薬剤師として薬局での勤務経験が3年以上ある、②その薬局に週32時間以上出勤、かつ1年以上在籍している、③医療に関する地域活動に参画している、④薬剤師研修認定等を得ている——という条件が課されています。

かかりつけ薬剤師は、薬や健康、QOL（生活の質）に関することなど何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近な医療人です。制度利用の有無にかかわらず、自身の味方として、かかりつけ薬剤師を利用してみてはいかがでしょうか。

- かかりつけ薬剤師・薬局の基本的機能
- 1 服薬状況を継続的に管理・指導
 - 2 24時間相談可能、在宅医療もサポート
 - 3 医療機関との連携

新型コロナウイルス感染症流行下で薬剤師が担ったこと

新型コロナウイルス感染症への対応は、感染者を乗せたクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号が2020年2月3日に横浜港へ入港した時から始まっています。神奈川県薬剤師会は、その日から、3700名余の乗客・乗員の常用薬などの調達に奔走しました。

感染対策に関する情報を積極的に提供したのも薬剤師です。消毒液やマスクが不足する中で、地域の薬局薬剤師も対応に迫られました。

新型コロナワクチンは、温度管理や希釈といった繊細な作業が必要で、これも薬剤師

が行っています。当初は接種に不安をもたれる方も多く、日本薬剤師会がワクチンに関するFAQを早々に開示して、全国の薬剤師が住民の皆さんに分かりやすく説明しました。現在は、経口治療薬の取り扱いという重要な役割も担っています。



監修：長津雅則先生

薬剤師
日本薬剤師会常務理事

ただし、受け取りようによっては「見守り」ではなく「監視」に……。元気な親の中には嫌がる方も多く、カメラ以外の方法が向くケー



しかし、内緒で設置するのは、親子とはいえ、プライバシーの侵害になるのではないのでしょうか。事前に、どんなふうに見えるか、スマホの画面を見せて提案してみるのも一案です。設置する角度や場所を工夫することもできるでしょう。

Mさん(50代男性、東京)の実家では母親(80代)が一人暮らし。週に3回、ホームヘルパーが来てくれますが、たいていは居間でテレビを見て過ごしているようです。Mさんは母親に対し、デイスタービスに通うことを勧めますが、本人は「行きたくない」と一蹴、施設の入居も拒否。Mさんは「現状だと、もし母が倒れても、次にヘルパーが来るまで発見されないのでは」と心配します。そこで思い付いたのが、居間にカメラを設置して24時間いつでもスマホから見守る方法。母親に話しても却下されそうなので、次回帰省する際に、こっそり取り付けてみようかと考えています。

カメラで見守る!?

心身が衰えても、「住み慣れた自宅を離れたくない」と考える親は多いものです。しかし、離れて暮らす子としては「何かあったら」と気に掛かります。

「いつも心は寄り添って」
NPO法人バオコ
「離れて暮らす親のケアを考える会」
理事長 太田彦恵子

vol. 124

もちろん、人によって関心があることはさまざまですが、その活動は自分に合ったものであれば、何でも取り組むようにしてみてください。ただ、そのとき、あまり大きな喜びややりが

このように、生活を楽しくすることは、このころの健康のためにも大切です。日々の生活の中で楽しいことややりがいのあることが減っていくと、気持ちがふさぎ込みやすくなります。逆に、ワクワクすることが増えると、こころが晴れます。さまざまなことに前向きに取り組もうという意欲も湧いてきます。

改められたりするなど、柔軟な対応が可能になりました。今年のゴールデン・ウィークには多くの人が自宅を離れて楽しんでいる様子が見られました。音楽祭やプロスポーツの会場でも、学校の運動会でも、久しぶりのリアル開催に喜んでいる人が多くいました。

新型コロナウイルス感染症が報告されてから2年半がたちました。最初はウィルスの正体がかんがえられず、不安な気持ちになった人が多かったと思います。さまざまな行動制限を当然と考える人がいる半面、不当だと考えて怒りを感じる人もいました。しかし、最近では、新型コロナウイルスへの理解が進んだためか、強い行動制限が解かれたり、マスクの着用の指針が

小さな喜びを シャワーのように

ほっとひと息、
こころにビタミン

精神科医 大野裕

vol. 52

スもあります。一方、認知症など心身が弱っている親だと上手に使えば両者の安心感につながることもあるでしょう。スピーカーとマイクの備わったタイプなら対話も可能です。徘徊感知機器として介護保険を使ってレンタルできる商品もあります。親の心情にも配慮しつつ、話し合いを重ねて検討したいものです。

COML 患者の悩み相談室

Vol.64

私の相談

術後の経過が芳しくないので カルテの開示を求めたい

78歳の母は10年前に網膜色素変性症と診断され、眼科クリニックに通院しています。数年前から白内障も発症して、しばらく様子をみていました。昨年、眼科医から「白内障も進んできたので、手術を受けませんか?網膜色素変性症があるのですっきり見えるほどに改善するのは難しいと思いますが、今よりは見えるようになると思います」と言われました。母は少しでも見やすくなるのだったからと、手術を受ける決意をしたのです。

ところが手術の結果、術前より見え方が悪くなり、「白いモヤモヤが常に視界にあって、まぶしくて仕方がない」と部屋のカーテンを閉めて引きこもるようになってしまったのです。そこで私が眼科クリニックに行って医師から説明を受けたのですが、「手術は成功しています」としか言ってくれませんでした。

行政がやっている相談窓口にも相談したところ、対応してくれた看護師は、医師の味方をするような発言を繰り返します。私が「カルテの開示請求をしたい」と言ったら、「それは訴訟をする人がすることだから、やめておいた方がいい」と言われてしまいました。今でもカルテの開示請求をすると、そのように受け止められてしまうのでしょうか。医師が詳しく説明してくれないので記録を見たいだけなのですが。



回答

回答者
山口育子(COML)

もちろん、カルテの開示請求をすることで問題のある人とみられる訳ではなく、患者側の当然の権利です。むしろ、医療訴訟を起こす場合は、カルテの開示よりも証拠保全が行われることが多く、カルテだけでなく、看護記録、検査データ、画像など全ての記録の目録を作成し、それを裁判所命令によって提出されたものをコピーしたり、写真に撮ったりします。

カルテの開示を希望する場合は、「手術を受けた記録を自分でも保存し、今後の治療にも活用したい」と目的を伝えてみてはいかがでしょうか。また、お母様の目の状態については、客観的な見解をセカンドオピニオンとして求めることも一つの方法ではないかと思います。

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

「賢い患者にならましよう」を合言葉に、患者中心の開かれた医療の実現を目指す市民グループ

詳しくはCOMLホームページへ ▶ <https://www.coml.gr.jp/>

電話医療相談 TEL 03-3830-0644

〈月・水・金 10:00~17:00 / 土 10:00~13:00〉ただし、月曜日が祝日の場合は翌火曜日に振り替え



健康 マメ知識

薬局で活用できる マイナンバーカード

2021(令和3)年10月から、医療機関や薬局でマイナンバーカードを健康保険証として順次利用できるようになりました。

特定健診の情報や、過去に薬局で調剤された医薬品の情報などを自身で確認できるようになるだけでなく、本人の同意があれば、薬剤師との共有も可能です。

正確な情報を共有することができるので、「かかりつけ薬剤師」とのやりとりもスムーズになり、服薬管理に関するサポートやアドバイスも受けやすくなります。

また、マイナンバーカードを健康保険証として利用することで、高額療養費の申請や医療費控除の申請などの手続きも簡易に。対応している医療機関や薬局には、「マイナ受付」のポスターやステッカーが掲示されています。